

## コモチマンネングサ (子持ち万年草)

名前の意味：子持ちは、花の咲くころ葉の脇に小さな芽（子供）をつけるから。万年草は、引き抜いてもなかなか枯れないので、万年も生きるという意味。

分類：双子葉類、ベンケイソウ科、マンネングサ属

好きな場所：日当たりのよい湿った道ばた

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた（自生）

特徴：みずみずしい厚い葉、黄色い星型の花、葉の脇の小さな芽

種子の運ばれかた：種子はできない

花弁の数：離弁、5枚

花の時期：5－6月

食べ方：食べられない

見分け方：メキシコマンネングサとは、小さいこと、葉の脇に芽ができないことで区別できる。オカタイトゴメとは葉が平たいこと、茎が密集しないこと、少し大きいことで区別できる。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)